



No.43

2018 April
[MISA会報 第43号]

- 賀詞交歓会・新春講演会
- 平成30年度MISA事業計画
- 委員会活動報告
- 新入会員紹介

■発行/一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 仙台市青葉区上杉1-6-10仙台北辰ビル5F 【TEL】022 (217) 3023 【FAX】022 (217) 3055 【E-mail】misa@misa.or.jp
■URL/http://misa.or.jp ■企画・編集/広報委員会 ■印刷/ハリウ コミュニケーションズ株式会社



賀詞交歓会開催

新春恒例の賀詞交歓会が平成30年1月16日(火)パレス平安において東北経済産業局、宮城県、仙台市、関係団体からのご来賓を含め、会員皆様270名を越える出席のもと開催されました。

はじめに、協会を代表し早坂会長より、新年の挨拶があり、エリクソン・ジャパン株式会社チーフ・テクノロジー・オフィサーの藤岡雅宣氏に「5Gは社会や産業界に何をもたらすのか」と題して、1Gのアナログから始まった通信技術の変遷と新たな5G時代を迎えたインパクト等、ICT産業の活性化に向けた貴重な講演を頂きました。引続き交流会に入り、ご来賓の皆様よりご祝詞をいただいた後、当協会顧問の富樫氏の乾杯の音頭により

懇談となりました。

景気回復の兆しが見えてきた中、余興のジャズ演奏等による新春独特の華やかさも加わり、これまでにない多くの参加をいただき終始和やかな雰囲気の中、会員相互の情報交換や親睦を深める場となりました。中締めは阿部副会長に三本締めの音頭をとっていただき盛況裏に終了することが出来ました。ご来賓、そして会員の皆様のご多数ご出席いただきましたこと、心より御礼申し上げます。



新春講演会・賀詞交歓会 会長挨拶

一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 会長 早坂 栄二



皆さん、明けましておめでとうございます。

会長を仰せつかっている早坂でございます。

本日は、新春講演会並びにMISA賀詞交歓会に、ご来賓の皆様を始め多数の会員の皆様にご参加いただきまして誠に有り難うございます。

また旧年中は、当協会の事業活動に対しまして、格段のご支援ご協力を賜りました。あらためて御礼申し上げます。

さて、我が国の2018年度の景況ですが、(一言で申し上げますと)G20のすべての国がプラス成長となり世界的好調持続の背景から緩やかな景気回復が続くと予想されております。

また、輸出が増加に転じGDPも1年8か月プラスを保持しているとともに、設備投資も1年近くの増加傾向、26年ぶりの株高等を見ますと回復基調にあるということです。

このような中で、我々情報サービス産業について見てみますと昨年の売上が21兆円、従業員は100万人強、総生産額は全体の4%位と日本経済を支える大きな産業

になってきております。

その中で宮城県は売上が2,200億円と東北全体の約60%を占め、全国10位の位置にあります。また最近では当地域にエリクソン・ジャパンさんをはじめ、約20社位のICT関連企業が進出を決めており、ますます成長が期待されております。

先日、JISAの賀詞交歓会があり世耕大臣が挨拶で「ICT業界は受託中心のビジネスモデルから、お客様と一緒に価値を創造しそれを実現していく価値創生産業に転換していく必要がある」と言われておりましたが、まさにそういうことも念頭に入れて考えていくことも必要になってきていると思っています。

今、お客様側では、ビジネスのデジタル化への取り組みが本格化してきております。基幹システムへのIT投資が一段落し、これからは、IoT、AI、ビッグデータ等の先端技術を活用した新たな付加価値やビジネスモデルの創出に進んでいくものと考えます。

このような中、私ども業界は先端技術やセキュリティ技術を含め人材確保がますます深刻化してきております。

こういった課題問題の認識のもと、昨年度に中期事業計画、いわゆるMISAビジョンを策定したわけでございます。これを受けて今年度は人材確保、育成の具体的な考え方を体系的に取りまとめ、行政機関等との連携のもと新年度からチャレンジしていきたいと考えております。初めての取組でございますのでいろいろな課題もあるかと思いますが皆様の積極的なご支援をお願いいたします。

今、地域の課題は震災復興はもちろんですが少子高齢化、経済活性化等がございます。これらの課題解決に向けてもICTの利活用推進は不可欠でございます。それらを実現させていくためにも我々ICT業界の発展が重要であり、MISAの役割は非常に大きいと思っ

ております。どうか今年も皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、本日の新春講演会は、エリクソン・ジャパンCTOの藤岡様をお招きして「5Gは社会や産業界に何をもたらすのか」と題してお話をいただきます。大変興味深い貴重なお話になるのではと、期待しております。

藤岡様、お忙しいところ誠に有難うございます。どうかよろしくお願い申し上げます。

それでは、今年が皆様にとって良き年になりますよう祈念いたしまして、挨拶といたします。

有難うございました。

新春講演会・賀詞交歓会 来賓挨拶

東北経済産業局 地域経済部 次長 **渡邊 善夫 様**



日頃から経済産業行政にご支援・ご協力をいただき改めて御礼申し上げます。

先ほどの講演で5Gがもたらすインパクトについて貴重なご示唆をいただきましたが、私も行政といたしましても、IoT、AI、ビッグデータ等という言葉が気軽にございさつの中で使わせていただいておりますが、ちょっと認識を新たにしなければと改めて思った次第でございます。

そんな中で経済産業省として二つほど営業・セールスをさせていただきます。

一つは、昨年7月末に情報政策通の世耕大臣の肝入りで「地域未来投資促進法」という法律を作りました。これはもともと企業立地促進法というのが10年経過したということで見直しということでしたが、ものづくり成長分野の誘致だけではなく、農業関係等第一次産業そのものずばりを第四次産業革命といわれるIoT、AI、ビッグデータ等を活用支援しようとするものでございます。ここが実は東北からのニーズがあるのではと思っておりましたが、先週青森県の地銀さんと九州のIoTでスマート農業を支援しているIT企業が包括協定を締結したという話題が新聞に出たところでございます。この社長さんともお話しさせていただきましたが、農業分野はコメや野菜・果物作りそして畜産まで多岐

にわたっており、それら全般について直接支援・貢献したいとのことでした。地域のICT企業の方々にもこのようなIoT活用支援については是非ご協力いただければ思っておりますのでよろしくお願いいたします。

それから大きな二つ目ですけれど、働き方改革と生産性革命というのが今の内閣の柱としてキーワードになっております。これらをサポートするというところで現在国会審議中ですが、政府原案としては、昨年度に引き続き中小企業のものづくり補助金1,000万円の支援、それからIT導入補助金については金額は少し下がりますが、予算額を10倍に増やし、全国10万社を支援する内容となっております。両方で1,500万円とかつてない規模でございますので、各県単位での予算執行という形になりますが是非宮城県の中でうまく活用いただきたいと思っております。

特にこれはIT企業の活用も当然想定されていますが、皆様がお付き合いされているユーザー企業のIT導入投資にもこれらの補助金活用についてセールストークに是非使っていただきたいと思っております。それらによって、皆様がお持ちのパッケージソフトの拡販にも繋がっていくものと期待いたします。

今年もMISAの皆様のご活躍とご参会の皆様のご健勝祈念いたしましてごあいさつといたします。

新春講演会・賀詞交歓会 来賓挨拶

宮城県経済商工観光部 部長 吉田 裕幸 様



皆様方には、日頃から本県の情報サービス産業の振興・発展に多大なるご支援、ご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

私も今年干支である戌年でございますので、ワンダフルな産業振興の年にしていきたいと思っておりますのでございますが、産業振興とイノベーション関連で一言お話しさせていただきます。産業振興の面で申し上げますと、一昨年、宮城県の企業誘致実績が全国4位でございました。その結果、内陸部の方には、自動車産業をはじめとして半導体製造産業の集積、沿岸部には食料品産業の集積が進みました。これにより直近の製造業出荷額が宮城県は初の4兆円台となったわけで、まずまず順調に産業の復興・集積が進んできたかなと考えておるところでございます、これに併せて雇用の確保をしっかりとやっていかなければならない段階に来ているのかなと実感しているところでございます。

また、イノベーション面で申し上げますと、半導体製造産業に絡む宮城県企業との取引拡大も進んできて

おります。それから金属積層型の3Dプリンターが多賀城で実現する運びとなっておりますし、リチウムイオン電池等につきましても相当な発展が見込まれ、中小企業のイノベーションビジネスの新たな結合を含め、イノベーション対策にもしっかり力を入れていきたいと考えているところでございます。

特に昨年はみやぎ発展税の延長をお認めいただきました。概ね220億円強の財源を持ちまして、本県の中小企業を中心とした、産業支援策を実施させていただきたいと思っております。IoT活用が急速に進展している昨近でございますのでモノづくり産業と情報産業の融合分野等様々な施策展開を行ってまいりたいと思っておりますので、MISA協会の皆様からのご提案や施策に向けたヒントをいただければ幸いです。

最後になりますが、MISA会員企業の皆様の社業のご発展と本日ご参会の皆様のご健勝・ご多幸をご祈念申し上げます。



新春講演会・賀詞交歓会 来賓挨拶

仙台市経済局 産業政策部 部長 **遠藤 和夫 様**



MISA会員企業の皆様には常日頃から仙台、宮城の情報化の推進、市政への多大なるご貢献をいただき心より感謝申し上げます。

皆様の日々のご活躍により最近では首都圏以外でITで元気な所と言われると、西は福岡、東は仙台かなと言われるようにまでなっていました。まだ福岡の方が前を走っておりますけど、あと数年で追いつき追い越して行きたいと考えているところでございます。そのためには、先立つものは何と言ってもお金でございますので、来年度の予算編成も粘り腰で頑張っただけしいながらも何とか確保できたかなと思っています。

新年度の大きなポイントは二つあると私どもは考えております。一つはやはりIT人材の確保、育成がポイントであり、仙台市では今年度から東北6県の教育機関を積極的に訪問活動しております。ただ、東北6県から

の人材確保ということだけでは非難をいただく事になりかねませんので、首都圏でも施策を検討し仙台への人材集積を画策しているところでございます。

もう一つは、ITが今社会インフラとなっていますが、まだまだ福祉分野とか労働集約的なところでの活用が進んでいない実態がございますので、新年度は様々な分野と連携し取り組んでいきたいと存じますので、MISAの皆様のご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

前のお二人のご挨拶がございましたので私からは以上でございます。

MISAのますますの発展並びにご参会の皆様のご多幸を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。今年もよろしくお願いいたします。



平成30年賀詞交歓会新春講演会 5G は社会や産業界に何をもたらすか

エリクソン・ジャパン株式会社
チーフ・テクノロジー・オフィサー 藤岡 雅宣 氏



移動通信ネットワークの変遷

移動通信ネットワークというのは、スマートフォン等の端末がビルの屋上や鉄塔にアンテナがある基地局と無線でつながっており、基地局があるところが無線アクセスネットワークいわゆる LAN というふうにあります。その先にまたネットワークがあり、それが電話交換のネットワークです。これは 1G であり、1G の場合は電話ですので電話交換機があったということで単純な構成になっています。

2G になって、無線ネットワークは同じですが電話交換に加えてパケット交換というデータ通信の部分が追加され、インターネットに繋がる部分が加わったということです。

例えばドコモさんで言いますと、1996 年に DoPa というドコモパケットが、そして 1999 年に iモード

が始まっています。ただし、この時はまだ 9.6Kbps ぐらいのビットレートでメールベースでした。

3G になって、このパケット部分が更に大きくなり Mbps 単位となり、インターネットサービスがどんどん増えてきてガラ系端末が出てきました。

その後 4G になって、LTE になりました。何が変わったかということ、ネットワークに電話交換部分がなくなり全部パケットになりました。パケットをベースに音声なんかもパケット化し、いわゆるボイスオーバー IP にしてスマートフォンの半分以上が Volte という IP の上に音声に乗っています。これはパケット音声で非常に音声もいいし、通話の設定も非常に速くなっています。これが基本的な現在のネットワーク構成です。

5G の背景

5G の課題は、いろんな通信アプリが出てきてどんどんトラフィックが増えてきていることです。今、世界全体のトラフィックは、大体四半期に 1 割位増えています。これが 7 年後ですと 9 倍くらい増えるとみえていますので、これが 5G が必要になっていることの一つの理由になります。

日本でも大体年 1.4 倍くらいの増加率を示していますし、端末 1 台あたり月 3GB が平均になっており、7 年前の 10 倍に増えています。これが北米ではすでに 7GB 使っており、2023 年には 48GB になると予想され、トラフィックますます増え続けるということ





で、これも一つの5Gの背景となっています。

その中身ですが、半分以上が動画像です。YouTubeやフェイスブックの動画像は55%となっています。これが2023年になると70%強が動画像となり、どこでも動画像が見れる環境が必要になってきているということも5Gと言われる由縁です。

また、一つのキャリアとか携帯電話というのはいろんな周波数帯の無線を利用しています。たとえば800MBとか900MBのいわゆるプラチナバンドもありますし、1.5とか1.7とか2GB等いろんな帯域を使っています。しかも今のスマートフォンは1個の帯域だけでは動画像の処理は出来ません。複数のキャリアをアグリケーション、束ねて使っているということです。

例えばドコモさんの場合、800MBと1.7GBを束ね、

これがアグリケーションになっています。これは理論的に788Mbpsまで出しており、こういう技術を使ってどこでも動画像が使えるサポートをしています。この辺が5Gの大きな背景の一つです。

もう一つはIoTの進展です。IoTは一言で言うと実世界の様々なものがデジタル表現になっており、例えば人間ですと、脈拍とか体温、呼吸等が数値化されると、これを使っているようなアプリを作っているというのがIoTです。IoTの方も世界的な市場の予想ですがIDCでは2020年には800兆円、マッキンゼーでは2025年には1,250兆円とすごい大きな市場があるというふうに言われています。これにより端末の数も膨大なものとなり、エリクソンの予測では世界で1日に大体500万個のデバイスが必要になるとしています。このような感じでIoTもどんどん増え、比例してトラフィックも膨大化してくるということです。

ただし、IoTの市場は、単に繋ぐということだけでは市場のバリエーションはあまりありませんしビジネスの規模は非常に小さくなります。むしろデータを集めてきて、これをAIを活用し処理してそれを使ってアプリを作っていくというレイヤーの方が非常に価値を持っています。いずれにしてもIoTも5Gの一つの大きな背景になっているということです。



平成30年度 委員会別事業計画



| 委員会名 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|------------------------|----|--|--|--------------|---------------------------------|---|
| 企画運営 (委員会) | | | ・理事会(第26回) ・第7回総会 ・講演会&パーティ | | ・顧問・参与懇談会 ・事業運営会議(H30第2回)委員会 | |
| 経営 (委員会) | | テーマ選定 ・経営強化 経営者や経営幹部が学び合う場の提供 (実施内容検討) ・親睦ゴルフ大会(春季) | | 講師依頼 (準備) | ・ISMSセミナー | |
| 人財確保推進 (委員会) | | ・企業説明会・業界研究会等 (1)企業説明会の開催 (2)業界体験・企業研究講座の実施 (3)UIJターン説明会の開催 ・産学協同実践的IT教育事業 (大学・高専生・専門学校生・留学生向け) (開校準備作業)(講師派遣企業募集) ・教育機関との連携 ・小中高向け啓蒙活動 | (随時対応) | | | ・インターシップ体験型実践的研修体験 ・連携会議 ・プログラミング教室開催 |
| 人財育成 (委員会) | | ・新入社員向け研修 (認定職業訓練) ・中堅社員向け研修 ・技術研修(技術向上セミナー) ・人材育成活用分科会(毎月開催) ・地域イノベーションリーダー支援 | 研修実施 (準備) ・新入社員研修・特別企画 ・中堅社員研修(1) | | ・フォローアップ研修 ・研修会 | (次年度計画検討) |
| 福利厚生 (委員会) | | ・交流・レクリエーション関連 ①スポーツイベント等開催 ②船釣り大会開催 ③新企画・検討 ・ヘルスケア ・新人研修 ・福利厚生事業の広報活動 (HP、情報誌等活用)による広報展開 | ・フットサル開催(夏大会) ・船釣り大会① | ・企画検討会 | | ・船釣り大会② ・企画検討会 |
| 事業共創 (委員会) | | ・異業種研究会(交流会)への参加 ・ビジネスマッチ活動 ・大学・行政連携タスク ・新研究会テーマ(新規ビジネス研究会)(農商工ビジネス研究会) | (みやぎ工業会活動への参加) | | ・StartUP Weekend SENDAI | ・異業種交流セミナー |
| ビジネス推進 (委員会) | | ・ビジネスチャンスの創出・地域貢献 | | | | |
| グローバル ビジネス (委員会) | | (開催内容の検討) | | ・準備作業 | | |
| 広報 (委員会) | | (協会情報誌の戦略的活用(協会パンフレット)、会員企業データベースの戦略的活用、MISAホームページの戦略的活用、MISA SNSの戦略的活用、MISAカ) | | | | |
| 地域連携推進 (委員会) | | ・情報誌発行(第43号) | | | | |
| 組織基盤強化 (委員会) | | ・他団体との連携によるITモデル化推進、アライアンス事業の検討推進等 | | | | |
| 事業運営強化 (委員会) | | ・中期事業計画の推進 | | | | |
| | | ・地域高度IT技術者の確保・育成 | | | | |

| | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|------------------|--------------------|--------------------------------------|--------------|------------------------------|-------|--------------------------------------|
| (一般社団法人) | | | | | | |
| | ・IT商品カタログ作成 | ・事業運営会議(H30第3回) 委員会 | | ・理事会(第27回) ・賀詞交歓会 ・講演会 | | ・理事会(第28回) ・事業運営会議(H30第4回) 委員会 |
| | | → | ・法的问题対応セミナー | | | |
| | ・親睦ゴルフ大会(秋季) | ・体質強化セミナー実施 委員会 | | ・Misaliy女性交流会 | | ・MISA交流サロン 委員会 |
| | | | | ・MISA IT企業就職合同ガイダンス開催 | | |
| | | ・成果発表会 & 修了証授与式 | | | ・連携会議 | |
| | 委員会 | 委員会 | ・プログラミング教室開催 | | 委員会 | |
| | | | ○会員アナウンス | | (準備) | |
| | ・中堅社員研修(2) (準備) | ・中堅社員研修(3) ・技術向上セミナー → ・研修会 | | | ・研修会 | |
| | 委員会 | 委員会 | 委員会 | 委員会 | 委員会 | 委員会 |
| | ・フットサル開催(秋大会) | ・企画検討会 | ・船釣り大会③ | ・企画検討会 | | |
| | | | | | | |
| | 委員会 | 委員会 | | 委員会 | 委員会 | 委員会 |
| | | ・StartUP Weekend SENDAI | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | ・イベント開催 | | ・評価・まとめ | | | ・ICTカンファレンス2018 |
| | 委員会 | | | | | |
| ンファレンスに向けた広報活動等) | | | | | | |
| ・情報誌発行(第44号) | | | | | | |
| 委員会 | | | 委員会 | | 委員会 | |
| | | | | | | |
| | | | | ・理事会報告 | | |
| | | | | | | |

事務局からのお知らせ

IPA主催第13回「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」2017に参画

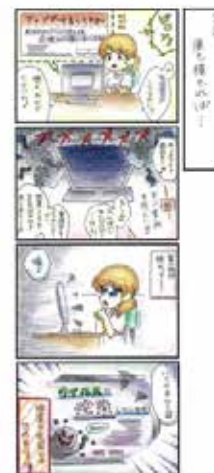
標記コンクールは情報モラル・セキュリティをテーマとした標語やポスター、4コマ漫画の創作活動を通し、全国の小・中・高生達がインターネットの安全利用等を意識する目的で、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が主催し開催しているもので、第10回より当協会も趣旨に賛同し後援をおこなっております。

地域賞（宮城県内）として、事務局長が代表し下記の通りMISA会長賞を選出、平成30年1月19日、宮城県警察本部において表彰式を行いました。

地域賞選定作品



ポスターの部



4コマ漫画の部

| 部門 | 作品 | 生徒名 | 学校名 |
|-------|----------------------|-------|------------|
| 標語 | ネット依存 気づいていないのは 自分だけ | 加藤 大晴 | 宮城県立涌谷高等学校 |
| ポスター | SOS!! ~情報が流れて止まらない~ | 吉田 彩乃 | 利府町立利府西中学校 |
| 4コマ漫画 | 塵も積もれば・・・ | 高橋 世奈 | 聖和学院高等学校 |

私たち TOiNX（トイックス）は、
IT で実現する新たな価値を
地域社会に広げ続けます。

ともに手を取りあい、
どんな時も誰よりも近くで、
しっかり支え、キッチリ守ります。
さらに、一步踏み込んだ提案をし、
期待をこえる感動を届けます。

トイックス
TOiNX
ITで、感動を、ともに。

東北インフォメーション・システムズ株式会社

〒980-0021 仙台市青葉区中央 2-9-10 セントレ東北
TEL 022-799-5555 (代表) FAX 022-799-5561
<http://www.toinx.co.jp/>

委員会報告

次世代研修会開催

人財育成
委員会

人財育成委員会主催の恒例事業である「次世代交流会」は、平成 29 年度に「次世代研修会」へ改名、内容をさらにレベルアップさせ開催いたしました。

具体的な研修内容としては、参加者の発想力を高めることをテーマに掲げ、「ニーズを的確にとらえるためのワークショップ」と題して、日立ソリューションズ東日本様のご協力を得て、独創的なアイデアを生み出す方法、顧客の気持ちをつかむための方法を講義頂き、参加者がチームを組んで模擬的に新たな事業を考えて発表するという流れで実施いたしました。

参加者は 15 社 25 名の 30 歳前後の業界経験年数が近い方々で構成され、新たな事業を討議する場では、今まで培ってきた経験を活かし、非常に活発な意見交換が行われました。

アンケートの結果も上々で、社外の研修会も自身のスキルアップに大変有効であることも伺えました。

本研修会は、平成 30 年度も人財育成委員会の事業として活動してまいります。今後はさらに次世代の方々への有意義な場となるよう取り組んでまいります。



委員会報告

「ソフトウェア開発」体験インターンシップ成果発表会

人財確保
推進委員会

2017 年 8 月 18 日から 8 日間の日程で開催致しました「ソフトウェア開発」体験インターンシップの成果発表会が 11 月 9 日東北電子専門学校様の会場をお借りして開催されました。MISA 会員企業 10 社にも参加頂きました。

35 名の学生が 6 つのチームに分かれて体験したソフトウェア開発の成果を発表しました。

ご協力頂いた MISA 会員企業 10 社、会場でご観覧頂いた皆様による審査の結果、最優秀賞「カウンセラー支援サイト」：(利用者をカウンセラーに特化し専門性の高い情報を交換する交流システム)と優秀賞「詰将棋サイト運営サポートシステム」：(投稿で詰将棋の設問をストック。書籍化のアウトプットまで見据える)が選ばれました。

また、35 名の参加者には本インターンシップ修了証明書を授与されました。インターンシップに参加された 35 名の皆様の今後の活躍を期待しております。



委員会報告

グローバル
ビジネス
委員会

芋煮ケーション2017の開催

ICT業界研究、魅力発見を目的とした新しい就職活動イベント「芋煮ケーション2017」を10月21日に開催しました。今回よりグローバルビジネス要素を取り入れ、日本企業に就職を希望する留学生が多数参加しました。

セミナーでは笑い声が上がり、芋煮会では賑やかな雰囲気、終始良い盛り上がりを見せていました。

学生の満足度アンケート結果でも「気軽に質問できる雰囲気が良かった」「話が面白くITにますます興味が湧いた」など大変好評でした。

<開催日>

平成29年10月21日

<会場>

茂庭荘

<動員客数>

学生：36名／企業：35名

<講演内容>

- 1: 「プログラミングの魅力とIT業界について」
株式会社ナナイロ
ファストエンジニアリング 事業部長/執行役員
樋口 祐紀 様
- 2: 「グローバルビジネスやったら、こんななった」
株式会社ラネックス
代表取締役社長 小林 貴之 様



委員会報告

グローバル
ビジネス
委員会

ICT CONFERENCE 2018の開催

「最新テクノロジーをもっと身近に」と題し、益々情報産業界でも注目を集めつつあるAI、IoT、VRなど最新の技術への理解を深めることを目的に、3月13日「ICT CONFERENCE 2018」を開催致しました。

100名近い参加者が、講演では大きく頷きながら各氏の話に熱心に耳を傾ける姿が多くみられました。

その後の懇親会では登壇者への熱心な質疑と食事を交えた歓談に終始賑やかな会となりました。

<開催日>

平成30年3月13日

<会場>

TKP ガーデンシティ仙台

<講演内容>

- 1: 「もう大企業だけじゃない！中小企業でも始まるAI/RPA 導入」
エス・アンド・アイ株式会社
コグニティブ&UC デベロップメント統括部
コグニティブソリューション (Watson) 部長 佐々 博音 様
- 2: 「IoT で変えたい、東北の未来。」
株式会社コー・ワークス
代表取締役社長 淡路 義和 様
エンベデッド事業部長 白田 正樹 様
- 3: 「VR の未来と今起こっている事。事例も交えて」
コミィ株式会社
代表取締役 柿沼 清孝 様



委員会報告

ナメタ五目釣り大会in塩釜沖大型漁礁

福利厚生
委員会

昨年12月23日(土)に『ナメタ五目釣り大会in塩釜沖大型漁礁』を開催しました。

寒さを感じない猛者22名が塩釜港より乗船し、1時間を掛けて漁場に向かいました。

当日の天気は快晴、波も穏やかで最高の釣り日和となりました。

釣果は、経験者の方々ばかりだったこともあり、本命の高級魚ナメタガレイの入れ食い状態でみなさん大いに楽しんでいただけた釣行となりました。



【成績】

優勝：42cm 鈴木 雄也 様 (株)ケーヒンエレクトロニクステクノロジー

2位 T：40cm 阿部 哲也 様 (株)ケーヒンエレクトロニクステクノロジー

2位 T：40cm 宮城 聡 様 (株)アテネコンピュータシステム



第33回MISA親睦ゴルフ大会

経営
委員会

■開催日：平成29年10月14日(土)

■場 所：西仙台カントリークラブ

第33回MISA親睦ゴルフ大会は、宮城の名門「西仙台カントリークラブ」で開催しました。コース改修があり難コースに変身したゴルフ場で14組54名が参加し、日頃の腕前を競い合い和気あいあいと会員間の親睦を深めるゴルフ大会となりました。

【成績】

| | NET | HC | |
|-------------|--------|--------|-----------------|
| 優勝：佐藤 崇 様 | (71.2) | (22.8) | (株)ピッツ |
| 準優勝：日向 輝雄 様 | (72.8) | (13.2) | (株)イツツ・コーポレーション |
| 第3位：稲葉 輝雄 様 | (73.4) | (21.6) | (株)東北システムズ・サポート |
| 第4位：神戸 利明 様 | (74.8) | (13.2) | (株)東北電子計算センター |
| 第5位：菅原 学 様 | (74.8) | (25.2) | テクノ・マインド(株) |



委員会報告

福利厚生
委員会

第13回MISA会長杯フットサル秋大会

第13回MISA会長杯フットサル秋大会を10月28日(土)リベラ鶴巻で開催しました。

オープンクラス(以下J1)、ビギナークラス(以下J2)、スーパービギナークラス(以下J3)のカテゴリーでの対戦です。

本番に先立ち10月11日(水)には、キャプテン会議を開催し競技注意事項を再確認するとともに、J1、J2、J3のカテゴリー分けについて、各チームの思惑を受けながら決定しました。

今回はJ1、J2は8チームでの対戦となりましたが、J3は開催間際に1チームが不参加となり4チームでの対戦となりました。

試合開始は、運営と各チームとの連携不足により遅れが出てしまいましたが、試合は各カテゴリーで熱戦が繰り広げられ、J1はNTTデータ東北チーム、J2はMinoriソリューションズチーム、J3はプロトソリューションチームが優勝し、初優勝が2チームとフレッシュな顔ぶれとなりました。

秋の大会は7月夏の大会と比べ、季節柄参加チームが少なくなりますが、それでも200名の皆さんに参加をいただき、また、回を重ねるごとに、会社や家族の応援が多くなってきており、大会は大いに盛り上がっております。

2018年度も、会長の支援をいただき運営企画の更なるアップを図りながら夏、秋大会を開催しますので、多くのチームの皆さんに参加いただきますようお願いいたします。



◆J1 結果

- 優勝 (株)NTT データ東北
- 準優勝 コンピューターマネージメント(株)
- 3 位 東北インフォメーション・システムズ(株)
(株)SRA 東北
- C優勝 (株)ケーヒンエレクトロニクステクノロジー



J1 NTT データ東北チーム

◆J2 結果

- 優勝 (株)Minori ソリューションズ
- 準優勝 東北 NS ソリューションズ(株)
- 3 位 (株)SJC
(株)クロスキャット
- C優勝 NEC ソリューションイノベータ(株)



J2 Minori ソリューションズチーム

◆J3 結果

- 優勝 (株)プロトソリューション
- 準優勝 (株)東日本技術研究所
- 3 位 (株)アテネコンピュータシステム
- 4 位 (株)フリースタイル
- ※C優勝 コンソレーション優勝 (敗者復活戦)



J3 プロトソリューションチーム



会員企業

NEW

技術情報 Part3

タイヤ空気圧から車両のリアルタイム位置情報まで
業務用のクルマを「未来」へつなぐIoTサービス

大型車でも手軽に
始められる
テレマティクス
サービス

BLUE-Connect



車両管理を効率化 コスト削減

- タイヤ空気圧監視システムで、タイヤのバーストを未然に防ぎ、タイヤコスト削減
- ドラレコ、アルコールチェッカー、庫内簡易温度計など、トラブルを未然に防ぐデバイスを連携可能

様々なデータを収集し、 運行管理に有用なデータを蓄積

- 経度や緯度などを取得し、リアルタイムで車両の現在地や運行状況を「見える化」
- 位置情報のデータを走行ルートの改善、燃費の改善のための利用も可能

業務内容や 管理方法に合わせた システム連携

- 事業者向けサービスともデータ連携が可能 (API)
- バス会社、運輸業など、業界を問わない業務車両での活用が可能



リアルタイムなマップ画面で
わかりやすい

「BLUE-Connect」の管理者用ダッシュボード

- ・マップ画面でリアルタイムでの車両の動態管理
- ・タイヤ空気圧などの車両ステータスをわかりやすく色分け
- ・さらに詳しい車両情報も詳細画面にて確認可能

導入も
かんたん！



①お問合せ



②センサーと
アカウントを送付



③センサーを取付けし
スマホ登録



④利用開始



トライポッドワークス株式会社
http://www.tripodworks.co.jp/

〒980-0811 仙台市青葉区一番町 1-1-41 カメイ仙台中央ビル 7F
TEL : 022-227-5680 (代表) Email : info@tripodw.jp

まずはご相談ください！ /

BC トライポッド |

検索

新入会員紹介 (平成29年10月1日以降の入会)

正会員-入会 賛助会員-入会

会員数 (正会員・・・156社 賛助会員・・・58社)

| 入会日 | 会員名 (代表者名) | 住 所 TEL・FAX |
|-------|-------------------------------------|--|
| 11月1日 | ヒューレックス(株) (代表取締役社長 松橋 隆広) | 〒980-6117 仙台市青葉区中央1-3-1 アエル17F TEL 022-723-1770 FAX 022-723-1738 |
| 12月1日 | (株)バンキング・システムズ (仙台営業所所長 三浦 久宣) | 〒980-0021 仙台市青葉区中央3-6-7 東日本建物仙台駅前ビル5F TEL 022-212-8388 FAX 022-212-8389 |
| 11月1日 | アイシン・コムクルーズ(株) (取締役社長 加藤 喜昭) | 〒450-0002 名古屋市市中村区名駅4-4-10 名古屋クロスコートタワー3F TEL 052-533-7051 FAX 052-533-7052 |
| 1月9日 | イー・アンド・エム(株) (東北事業センター長 梶谷 清隆) | 〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-1-2 NMF青葉通りビル4F TEL 022-393-7511 FAX 022-393-7512 |
| 1月22日 | 日本アパカス(株) (仙台支店支店長 五十嵐 良司) | 〒980-0811 仙台市青葉区一番町3-3-11 Human青葉通ビル9F TEL 022-341-2231 FAX 022-722-3323 |
| 1月25日 | エリクソン・ジャパン(株) (代表取締役社長 野崎 哲) | 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-2-3 仙台MTビル17F TEL 080-2387-9297 FAX 050-3730-5419 |
| 4月1日 | 東芝デジタルソリューションズ(株)東北支社 (支社長 青山 誠) | 〒980-0803 仙台市青葉区国分町2-2-2 東芝仙台ビル3F TEL 022-264-7671 FAX 022-264-7639 |

(敬称略)

MISAフォトコンテスト結果報告

MISA会報43号フォトコンテストに、会員企業の16名の方より37作品のご応募をいただきました。MISA事務局と広報委員会の投票による選考結果でグランプリと準グランプリが決定いたしました。グランプリ作品1点には商品券、準グランプリ作品2点と佳作10点にはQUOカードがそれぞれ贈呈されます。

グランプリ

表紙に
掲載

「桜千線」

サイバーコム(株)
菅原 彰 様

準グランプリ

「菜の花と蔵王連峰」

(株)トレック
柴崎 健一 様

準グランプリ

「陽光」

伊藤忠テクノソリューションズ(株)
遠藤 好郎 様



絵画のご紹介

MISA参与(元副会長)佐島正人様から寄贈されました。ご覧になりたい方は、MISA事務局へお越しください。



「鬼瓦」
(水彩 F6)